

ムスピの会ニュース

宇宙生理学入門①

受け入れたものは消える宇宙の法則

闘争手段は逆効果

宇宙の法則に受け入れたものは消え、反発したものは反撃されるという法則があります。

たとえば、戦いの場で、相手の要求を呑めば和睦が成立し、拒否すれば戦争になり、口論の場合は、こちらが折れば収まりますが、相手を責めると暴力沙汰になったりします。

受容性とは統合意識側の資質なので、意識が統合を向いている時には生命エネルギー（創造エネルギー）が増し、闘争という分離を向いている時には下がります。統合エネルギーは相手を引き寄せる力である和睦や信頼、共存、容赦を培いますが、分離のエネルギーは反発力を生むので、闘争や紛争状態を引き起こし、泥沼化して生命を脅かします。

この法則を社会問題の解決に当てはめてみると、闘争的な手段は逆効果になることがわかります。軍備というのは争いごとを想定（イメージ）しているのです。軍事衝突という現実を引き寄せます。戦争をなくすには軍備を持たない（敵国を想定しない）ことが真の対策になります。同じように警察や牢獄をなくすと犯罪がなくなり、薬や医療に頼らなると自然治癒力が増し、保険をかけないと事故がなくなり、家の鍵をなくすと泥棒が来なくなり、監視カメラをなくすと犯罪が起きなくなるという現実を引き寄せます。

発行	ムスピの会
出版部	2月の月齢
下弦	2/5
新月	2/12
上弦	2/20
満月	2/27

がんは生命の恩人

日々の生活でも、不安や心配をしないと平安が訪れ、恐怖を手放すと安心感が増え、競わないと助け合うことができ、奪わないと与え合える関係になれます。

最近、ガン患者の増加に伴い、ガンと闘う人が増えています。しかし、闘うとガンから敵対され、ますますガン細胞が増殖し生命力が損なわれるのが宇宙の法則です。反対にガンをありがたく受け入れ、共存していく意識しているとガンはおとなしくなり、いずれ消えていきます。

ガン細胞は嫌気性細胞であり、血液の流れが悪くなると細胞に酸素が十分に供給されない酸欠状態の中で発生します。代謝システムを従来の燃焼系から酸素を必要としない解糖系に変化させ、劣悪な体内環境でも生き延びるための延命作業をしてくれているのです。また、ガン細胞は劣化（酸化）した血液だけを集める浄血細胞であり、きれいな血液環境では増殖しなくなり、つまり、ガンは生命の恩人とも言ってもよいのです。

人間の進化とウイルス

現在流行中の新型コロナウイルスについても同様で、病原性細菌と闘うという意識でいると、絶えずマスクをし、抗菌剤や殺菌剤、消毒薬、抗生剤の使用頻度が増え、自らの体内にいる乳酸菌などの有用な常在菌まで死滅させてしまいます。結果、免疫力が低下し、感染症に罹りやすくなるという逆の状況に陥っています。あらゆる菌と闘わず、共存するという意識であれば、微生物は反旗を翻さず、却っておとなしくな



り、感染しても重篤化することはありません。

これまで人類はウイルスと共存しながら免疫を獲得し、進化してきました。もしかしたら、ウイルスは、人体というOSオペレーティングシステムのバージョンアップを促す役割を持っているのかもしれない。

野口晴哉さんの「風邪の効用」(ちくま文庫)という本の中に、風邪は自然の健康法であり、風邪は治すべきものではない。風邪をひいた後は、あたかも蛇が脱皮するように新鮮な体になる」と書かれています。

コロナウイルスも風邪の一種であるわけですが、風邪を引いた後、アトピー性皮膚炎が改善したり、ガン細胞が萎縮したり、血糖値が下がったり、血圧が正常値になったといった報告が多数あります。受け入れたものは消えるというのが宇宙の法則であるならば、新型コロナウイルスも闘わずに受け入れるという選択があってもよいのではないのでしょうか。

あるがままを受け入れ困難を乗り切る

武道の世界でも空手のように激しくぶつかり合うとどちらかが怪我をしますが、柔道や合気道では、受身が基本なので、相手を傷つけずに無力化することができます。日本も敗戦によって無条件降伏しましたが、結果、世界有数の経済大国になりました。

もし、今の自分が嫌い、自分なんて何の価値もないと否定していると、人から煙たがれる、批判される、責められる、いじめられるという現象が考えられます。反対に、たとえばダメなところやできないところがあっても、「今の自分で良かった！ありがと」とあるがままで受け入れると、人から好かれる、信頼される、喜ばれる、愛されるという心地よい状況を引き寄せることができます。

ぜひ、受容性の心で生命力を高め、あらゆる困難を乗り切ってくださいね。

良質のでんぷん質でお腹の中から温める

葛は野山に自生する生命力の強い葛の根から取れる良質のでんぷん質で、優れた薬効から漢方薬にも用いられています。体を温め血行よくしてくれるので、風邪のひきはじめや、消化吸収がよく、整腸作用もあるので、便秘や胃弱な方の食事に取り入れたり、病人食としてもおすすめです。また、葛にはイソフラボンが大豆の 5~10 倍も含まれおり、抗酸化力をもつサポニンも含まれているので、老化や生活習慣病が気になる方にぜひ摂ってもらいたい食品です。このように様々な効用をもつ葛は寒い時期だけでなく、一年を通じてお使いいただけます。

廣久葛本舗の本葛の特徴

100kg の葛の根からわずか 7kg しか取れません。まさに純白の金！

混ぜ物なし！国産（九州産）100%の本葛

石灰や硫酸や漂白剤などの化学薬品を使わない昔ながらの伝統製法

葛根の収穫から製品になるまで、約 1 年の歳月をかけて作られています。



ブロックタイプ

お料理のとろみ付けやお菓子作りに大活躍！

大きなかたまりは、天日乾燥の証！



廣久本葛（固形）

原材料：葛（九州産）

内容量：250 g

販売価格：3,024 円（税込）



廣久本葛（固形）

原材料：葛（九州産）

内容量：80 g

販売価格：1,080 円（税込）

使いやすいパウダータイプ

天日乾燥で固めたものを石うすで丁寧に引いて

使いやすくしました。



久助葛（粉末）

原材料：葛（九州産）

内容量：60 g

販売価格：1,080 円（税込）

こんな方におすすめ

風邪（発汗・解熱作用、体を温める）

冷え症（体を温める、血流改善）

首・肩こり（筋肉の緊張を緩め血流をよくする）

不眠・イライラ（自律神経を整えてくれる）

胃弱・虚弱体質（消化が良く栄養補給ができる）

便秘（整腸作用で腸内環境を整える）

高血圧の予防（血管の緊張を緩める）

更年期障害（ホルモンバランスを整える）



胃腸が弱く虚弱体質、低体温の方におすすめ。

葛入り玄米甘酒

材料

玄米甘酒 1/2 カップ
葛粉 小さじ 1
水 1/2~3/4 カップ
塩 少々
しょうが（好みで） 少々



- ①葛粉を同量の水（分量外）で溶く。
- ②小鍋に甘酒と水を入れ、①を加えて混ぜ、木べらで混ぜながら温めて塩を加える。
好みでしょうがを入れても。

引用元：月のリズムで玄米甘酒ダイエット
岡部賢二著/杉村美樹（料理）
（PARCO 出版）



ムスピの会 HPはこちら